

# メモ(Windows 11 の WSL2 による SSH 接続)

## keychain

秘密鍵を登録する際、ターミナルを再起動する度に鍵を ssh-agent に登録する必要がある。

keychain を使用すると ssh-agent が起動していないときは、自動的に鍵を ssh-agent に登録してくれる<sup>1)</sup>。

```
username@localhost:~$ sudo apt-get install keychain
```

~/.bashrc (.bash\_profile) の末尾に下記を追加する。

```
/usr/bin/keychain -q --nogui $HOME/.ssh/id_ecdsa  
source $HOME/.keychain/$HOST-sh
```

\$HOME: ホームディレクトリ, \$HOST: ホストネーム

## ssh接続設定のファイル

下記の設定をファイルに保存し (\$HOME/.ssh/config), sshコマンドを省略できる。

```
Host 踏み台  
  ForwardAgent yes  
  ForwardX11 yes  
  ForwardX11Trusted yes  
  User 踏み台username  
  HostName 踏み台サーバ
```

下記コマンドでssh接続できる。

```
username@localhost:~$ ssh 踏み台
```

[Windows 11 の WSL2 による SSH 接続に戻る](#)

<sup>1)</sup>

OS再起動後にターミナル起動するとパスフレーズは聞かれる

From:  
<https://portal.isee.nagoya-u.ac.jp/stel-it/> - STEL-IT wiki

Permanent link:  
[https://portal.isee.nagoya-u.ac.jp/stel-it/doku.php?id=public:win11\\_wsl2\\_ssh:memo&rev=1709603120](https://portal.isee.nagoya-u.ac.jp/stel-it/doku.php?id=public:win11_wsl2_ssh:memo&rev=1709603120)

Last update: 2024/03/05 10:45

